

公庫、JCCCに2.8億融資

恩納の飲食施設資金に

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は19日、沖縄観光リゾート産業振興貸付を適用してJCCC（糸満市、淵辺俊紀社長）に2億8千万円の融資を実行したと発表した。



JCCCは県内で飲食店などを展開しており、3月に沖縄の歴史や文化を体感できる飲食施設「琉球歴史絵巻館・沖縄地料理 風月楼 恩納本店」を恩納村富着に開店した。同施設には沖縄の古民家を模した個室や、琉球王朝時代の偉人画などが設置されており、少人数から最大620人まで利用できる。今回の融資は施設の開設資金に充てられた。

淵辺社長は写真左から2人目。恩納村は沖縄を代表するリゾート地だ。面白いまちづくりができたら観光地としてさらに魅力的なエリアになるはずで、その一助になればと考えている」と話した。

JCC新施設へ 公庫2.8億円融資

恩納村の「風月楼」

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は19日、ホテルやレストランなどを展開するJCC（糸満市、瀨辺俊紀社長）が3月に恩納村で開業したエンターテインメント型飲食施設「風月楼（恩納本店）」の開設資金として、2億8千万円を融資したと発表した。

金利が優遇される「沖縄観光リゾート産業振興貸付」を適用し、5月10日付で融資。同公庫で会見した瀨辺社長は謝意を示し、「沖縄を代表する観光リゾート地の恩納村は、今後のまちづくりに夢のあるエリア。その一助となるよう力を入れて取り組んでいきたい」と抱負を語った。

同店は少人数から最大収容620人まで利用できる大型施設で、沖縄の懐かしい集落を再現したエリアや、琉球の偉人の絵で、歴史をたどる空間などを備えている。

公庫は店舗の開業で、観光資源の新たな付加価値の創造と新規雇用の創出が期待できると判断した。